



岩崎灌園『本草図譜』に描かれた紫根

紫根 (シコン)

紫根は多年草ムラサキの根を乾燥させて作る生薬である。外皮の紫色は主要成分であるシコンニン類に由来するもので、古くから染料として利用されてきた。流通品には軟紫根と硬紫根があり、薬用には硬紫根を用いる。主な薬効は創傷の治癒促進作用、抗腫瘍作用などである。紫根を含む漢方薬に外用薬の紫雲膏があるが、江戸末期の外科医華岡青洲が考案したものとして有名である。現代において紫根の基原植物ムラサキは環境省のレッドデータブックに掲載される稀少な植物となっているが、夏の季語として頻繁に和歌に登場した時代もまた栽培困難な貴重な植物であったと考えられる。

(薬剤部 鹿島 絵里)

疲労について

漢方診療部 医長 川鍋伊晃



普段の診療の中で、疲労感でお悩みの方を拝見する機会はとても多いのですが、このコラムをお読みの方の中にも、疲れや怠さがすっきりせず何とかしたいとお困りの方は少なくないと思います。現代の日本では、ストレス関連疾患の急増に伴って、疲労感を自覚される方も増加傾向にあります。慢性的な疲労状態が続くことは、時に仕事や家事などに深刻な影響をもたらし、社会的な損失にも繋がることから、メディアでも多く取り上げられ、医学的にも様々な研究が進められています。

漢方医学では、疲労感を伴う状態は主に「虚労病」として扱われます。過労や睡眠不足、食事の不摂生、大病などが誘因となり、気血水や五臓などの漢方医学的視点では、複数のアンバランスを呈する傾向があります。実際の診療では、疲労感に加え、随伴する様々な心身のトラブルも踏まえ、各々の状態に合わせた治療薬を選択するとともに、生活上の問題点についても是正を図ります。

日常生活に支障をきたす疲労病態として、「慢性疲労症候群」という疾患概念が現代医学領域で広く知られています。1980年代に提唱され、筋痛性脳脊髄炎などとも呼ばれますが、強い全身倦怠感に加え、痛みや不眠、抑うつなど多彩な症状を呈し、日本における患者数は30万人を超える

とも言われています。体のあちこちが痛む「線維筋痛症」や、下痢や便秘、腹痛に苛まされる「過敏性腸症候群」などとのオーバーラップも大きく、最近では包括的に身体症状症と呼ばれることもあります。通常検査では異常を認めないことが多いのですが、過去の研究から、ウイルス感染や代謝異常、ミクログリアと呼ばれる脳細胞の過剰な活性化による中枢神経の炎症などが関与している可能性が推測されています。未だ発症メカニズムの全容解明には至っていないものの、簡易的な疲労度チェックを目的とした血中バイオマーカーの探索なども進められています。

慢性疲労症候群を含め、疲労を主訴に受診される方の症状の程度や状態は様々ですが、治療としては、漢方薬やビタミン剤、向精神薬などの薬物療法や認知行動療法などが一般に行われます。



漢方薬としては、人参や黄耆などの滋養強壯作用のある生薬を含む処方用いられる機会が多いのですが、それ以外にも、血液の巡りや水分バランスの是正などの働きをもった生薬が有効な場合もあったりと、個々の病態に応じて用いる漢方薬は多岐にわたります。

当研究所の特色である良質な生薬を用いた煎じ薬や、生薬原末を用いる丸薬や散剤による漢方治

療は、医療用エキス製剤と比較して一般に高い治療効果をもたらします。また、漢方治療での症状の緩和が不十分な場合には、当研究所内で鍼灸治療も合わせて受けていただき、相乗的な効果を期待することも少なくありません。皆様がより良い生活をお送りいただけるよう診療に取り組みますので、お悩みの際には相談ください。

最新 漢方研究の世界

エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの開発

臨床研究部 室長 日向 須美子



麻黄は、多くの漢方薬（麻黄湯、葛根湯、小青竜湯、越婢加朮湯、防風通聖散、麻杏薏甘湯、薏苡仁湯など）に配合されている生薬です。麻黄の主成分は、明治18年に長井長義先生により単離・構造決定され、マオウ属（エフェドラ属）から得られたことからエフェドリンと命名されました。これは生薬から化学物質が抽出された最初の偉業で、漢方の科学的研究の端緒となりました。その後、プソイドエフェドリン、メチルエフェドリンなどのエフェドリンアルカロイドが単離され、麻黄の薬効を担う成分であると考えられてきました。麻黄の薬効としては、発汗、解熱、鎮咳、抗炎症、鎮痛、抗インフルエンザ作用などが知られており、これらの薬効はエフェドリンアルカロイドで説明できるとされています。エフェドリン及びプソイドエフェドリンの構造はアドレナリンに類似しており、アドレナリン受容体を刺激し、気管支拡張や鼻粘膜充血の除去作用を示します。また、プソイドエフェドリンはプロスタグランジン生合成阻害を介した抗炎症作用を示すと考えられています。

一方、エフェドリンアルカロイドはアドレナリン受容体を刺激するため、血圧上昇、動悸、不眠、排尿障害等の副作用を生じることがあり、麻黄配合漢方薬は、循環器系障害、高血圧症、及び腎障害のある患者様や、体力の衰えている方、高齢者に対して使用上注意を要します。さらに、エフェドリン及びプソイドエフェドリンは世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が規定した禁止薬物で、麻黄の配合された感冒薬（麻黄湯、葛根湯、麻杏甘石湯など）や、関節痛及び筋肉痛の治療薬（麻杏薏甘湯、越婢加朮湯及び薏苡仁湯な

ど）をアスリートが服用すると、ドーピング検査で陽性になる危険性があります。

これまで、麻黄の薬理作用と副作用は、エフェドリンアルカロイドに由来すると考えられてきたため、麻黄から副作用を除去することは困難であろうと思われていました。しかし、私たちは、麻黄の薬効の一部（鎮痛作用、抗インフルエンザ作用、抗がん作用）は、エフェドリンアルカロイドに依存しないことを見出し、薬効に影響を与えないマイルドな方法でエフェドリンアルカロイドを除去し、副作用が軽減されたエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス（EFE）を開発しました。EFEは、元の麻黄と同様に鎮痛作用、インフルエンザウイルス感染阻害作用、抗がん作用を有しており、興奮作用、不眠作用、心機能への影響がないことを動物実験で明らかにしました。また、健康成人に対する安全性試験でも安全性が高いことが示されました。

今後は、EFEを高齢者の変形性関節症(OA)による疼痛の治療薬として開発することを考えています。OAによる疼痛は生活の質を低下させ、要支援や要介護の原因となることから、高齢者の身体に負担の少ない鎮痛薬の開発が求められているためです。また、麻黄の代わりにEFEを配合した漢方薬を開発し、副作用の軽減やドーピングの危険性をなくすことに貢献したいと思っています。さらに将来的には、EFEをがん治療に応用し、がん患者様に優しい治療薬を開発できればと考えています。私たちは漢方薬の研究を通して、患者様の健康に寄与できることを第一に考えております。

生薬豆知識

ムラサキ
紫草

薬剤部 鹿島 絵里



新元号令和の典拠、万葉集には漢方薬に用いられる生薬がたびたび登場する。「茜さす紫野行き標野行き…」と額田王が詠めば、「紫のにほへる妹を憎くあらば…」と大海人皇子が返す。万葉集の中でもとりわけ有名なこの2つの和歌に詠み込まれたムラサキもまた、漢方生薬である。使用部位は植物名の由来にもなっている紫色の根っこ、紫根だ。

「現代において野生品はほぼ絶えたと考えられており、栽培もまた極めて難しい」ある薬用植物園を訪れた際に聞いたムラサキの解説はこのようなものだった。そこまで言われたら育ててみたい。持ち前の好奇心と負けん気がむくむくと湧きたち、図々しくも後日、こちらの薬用植物園にお願いしてムラサキの苗を分けていただいた。興味だけはあつたものの園芸は素人の私。赤玉土と腐葉土を教えてもらった通りに配合したムラサキ専用プランターを自宅の庭に用意して大事に世話をした。ちっぴけな葉が数枚増えればそれだけで歓喜した。何せ絶滅危惧種IB類のムラサキ様である。高貴でデリケートなこの植物の成長に一喜一憂の日々を送った。

ビギナーズラックとでも言おうか、栽培1年目のムラサキは無事に開花し種を採るに至った。ムラサキと名乗りながら花は白く、種もまた陶磁器のような光沢のある白で気品を漂わせた。気分を良くした私は生薬や染料として使えるレベルまで根を太らせようと意気込んだ。少なくとも3年根、できれば4年根が目標である。

波に乗るムラサキ栽培2年目、思いがけず隣のプランターからムラサキの芽が出た。こぼれた種が芽吹いたのだ。発芽率はすこぶる悪いと見聞きしていたが、私の2年生ムラサキより明らかに株

の数で賑わっており、葉も大きく育った。聞けば夫が100円ショップで買い求めた土が入っていると言う。私が愛情込めて配合した土より、100円ショップの土が好きなのかとムラサキを問い詰めても仕方なく、日当たりの微妙な加減のせいだと理由をつけて2年生ムラサキをあっちへこっちへと移動させた。しかし、こぼれた種の1年生ムラサキの成長に、愛情たっぷり2年生ムラサキが勝つことはなかった。やがてたくさん種をつけた1年生ムラサキから、したり顔で夫はそれを採った。成長スピードで負け、採れた種の数で負け、私のムラサキ熱は急速にしぼんだ。なるほど栽培の難しい植物と言われるだけのことはあるなどと自分の飽きっぽさを棚に上げ、3年目からはろくに観察もしなくなった。

さて令和の幕開け、ゆかりの万葉集に促されムラサキ栽培をやり直そうと思い立った。どこに種をまこうかと狭い庭をうろろうしていたところ、植木鉢の陰のいかにも日当たりの悪そうな地面からムラサキが伸びているのを見つけた。観察をやめて時がたつがこうして細々と代を継いでくれたのかと驚いた。高貴さよりも確かな生命力を感じさせてくれたムラサキの我が家への適応力に感謝し、横に発芽ポットを並べた。



植木鉢の陰で育つムラサキ

ツボの効用

きょうしゃ
頰車穴

鍼灸診療部 近藤 亜沙



小顔のツボをご存知ですか？最近美容の分野でも鍼が取り入れられることが多くなってきました。美容鍼でよく用いられるツボの一つに「頰車穴」があります。

顎の角の部分、下顎角の前上方耳垂下端と下顎角の間の陥凹部に取ります(図1)。フェイスラインのリフトアップ、顔面のむくみの改善が期待できるため、小顔のツボと言われています。

漢字の成り立ちより、頰の頁は頭(顔)を意味し、

夾は挟むで、頭を挟むという意味をあらわします。古代では頤(オトガイの骨)を車と称し、また牙車とも言い、下顎骨が車軸のクサビのように、左右からあい挟むため頰車と名付けられたと言われています。頰の機軸転動の部位に当たることから、機関とも言われます。解剖学的にみると、咀嚼筋の一つである咬筋上にあります。下顎骨には口を閉じる作用がある咬筋・側頭筋・内側翼突筋・外側翼突筋、口を開ける舌骨筋群・顎二腹筋・外側翼突筋が付着

しており、これらの筋肉によって咀嚼が行われますが、開口時、下顎頭は頬車を中心に前下方へスライドして動くことが知られています。そのため、噛み合わせの問題で起こる顎関節症や噛みしめ、歯ぎしりなどに大きくかかわるツボと言えます。

古典を見てみますと、およそ2000年前に編纂されたとされる医学書の『素問』気府論篇に足の少陽胆経のツボとして「耳下の牙車之後ろ」とありますが、現在は足陽明胃経のツボとなっています。三世紀後半の『鍼灸甲乙経』には「頬車は耳下の曲頰の端、陥たる者の中に在り。口を開くと孔有り」とあります。頬車の部位に指を当てて開口すると、下顎骨が下がり、穴が開いているように感じる部位を言っています。主治は顔面神経麻痺や下歯痛、三叉神経痛、頸・項部のこわばりと痛みなどです。

昭和の名鍼灸師で、鍼灸の復興に大きく携わった柳谷素霊はこのツボを『柳谷秘法一本鍼』のなかで、下歯痛の鍼・耳鳴の鍼に使用しています。頬車穴に刺鍼する方向を変えることで、効かす部位を変えています。また、『靈枢』五色篇の顔面診を図解した『類経図翼』をみると、頬車の

位置は股関節、あるいは膝関節にあたり、これらの異常を調節するとも考えられています(図2)。

現代のストレス社会では、知らず知らずのうちに歯を食いしばっていることが多く、咬筋がかたくなってしまいます。噛みしめは、肩こりや頭痛、腰痛の原因ともなり、顎だけの問題ではなく、全身に影響を及ぼします。押すと硬くなっている方は痛みを感じる場所でもあります。指圧するだけでも顎が動かしやすくなったり、顔がすっきりするのが体感できると思います。

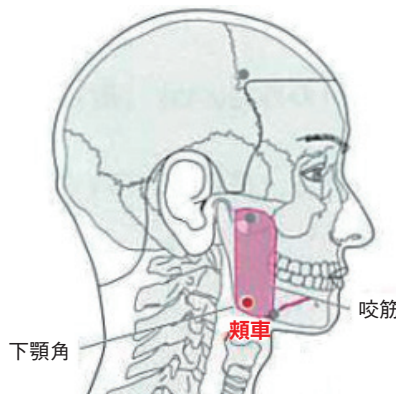


図1 出典：WHO標準経穴部位

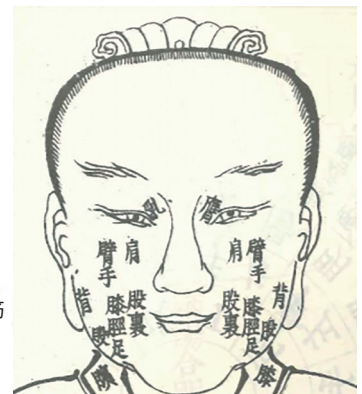


図2 出典：類経図翼

東洋医学総合研究所 漢方鍼灸治療センター 外来案内

休診日：日曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)
ホームページ：<http://www.kitasato-u.ac.jp/touji-ken/>

漢方科 2019年7月～						
	月	火	水	木	金 土 ^⑤	
午前	花輪 ^① 星野 石毛	花輪 鈴木 森(裕) 石毛	花輪 ^② 川鍋 石毛 齋藤	花輪 小田口 森(瑛)	伊藤(剛) 鈴木 星野 森(裕)	小田口 及川 鈴木 星野 森(裕) 川鍋 石毛
午後	森(裕) 川鍋 丸山 【冷え症外来】 鈴木	伊藤(剛) 鈴木 川鍋 伊東	星野 石毛 遠藤	小田口 及川 ^③ 五野 森(瑛)	星野 森(裕) 伊東 遠藤 【冷え症外来】 伊藤(剛) ^④	

鍼灸科 2019年7月～						
	月	火	水	木	金 土 ^⑤	
午前	伊藤(剛) 黒岩 石原	柳澤 井田 石原	石野 井田 黒岩 石原	伊藤(剛) 伊藤(雄)	伊東 黒岩 近藤 石原	伊東 井田 黒岩 伊藤(雄) 近藤
午後	井田 近藤 石原	黒岩 伊藤(雄) 近藤 石原	伊東 伊藤(雄) 近藤 石原	井田 黒岩 伊藤(雄)	伊藤(剛) ^⑥ 井田 伊藤(雄) 石原	

※黒字は男性医師または男性鍼灸師
赤字は女性医師または女性鍼灸師
※専門外来では一般の患者様の診療も行っています。

- ① 月曜日午前の花輪医師の外来は、初診の方のみとなります。
- ② 水曜日午前の花輪医師の外来は、第2が休診となります。
- ③ 木曜日午後の及川医師の外来は、第2木曜日のみとなります。
- ④ 金曜日午後(第1・3)の伊藤(剛)医師の冷え症外来は初診のみとなります。
- ⑤ 土曜日の外来は、交代制となります。スケジュールはホームページまたは予約電話へお問合せください。
- ⑥ 金曜日午後の伊藤(剛)医師の外来は、第2・4のみとなります。

予約電話：03-5791-6169
(月～金) 8:30～17:00
(土曜日) 8:30～12:30
お薬に関するの問い合わせ：
03-5791-6167
その他のお問い合わせ
代表：03-3444-6161

初診受付時間		
漢方科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:30	8:00～10:30
午後	12:50～15:00	
鍼灸科		
漢方科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:00	8:00～10:30
午後	12:50～14:30	

再診受付時間		
漢方・鍼灸	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～11:00	8:00～11:30(鍼灸) 8:00～12:00(漢方)
午後	12:50～15:30	
漢方ドック		
	月～金(完全予約制)	
	9:00～15:30	



WEBサイト